

# JNDT 2001<sup>i</sup> Final Round

## Debate Ballot (Reason for Decision)

### 中山昇一(Chief Judge) (Negative Vote)

AD 1: Negative によると、今でも U.S.は Asia でのプレゼンスが下がっておらず、×2 くらいになっているらしいので Inherency はないと思います。  
この議論に対しての有効な 2AR のアタックはスピーチのなかからは分かりませんでした。

AD 2: Negative の Minor Repair でいうように PKO のみで参加すれば AD2 はキャプチャー出来ると思います。PKO Not Unique は PKO と PKF の違いがカードで示されて Surely に PKF で Die する。 Turnaround Stands です。  
ケースがフリップされて Negative。

### 菅田琢磨 (Negative Vote)

AD 1: ・ Negative の主張どおり、U.S.での立場がどの様に落ちたのかは Case からは把握しづらい。一方、Negative は E.U.で減らした分を(最近の E.U.の情勢の好転によると思われる)東アジアに回すと主張しており、こちらのほうが信用できると考える。もう一つ、Affirmative が主張した経済的な中台関係の好転も、少なくとも中国政府としては軍拡の必要性を感じないのではないか East Asian のミリタリーバランスは保たれる。

- ・一方、軍拡うんぬんに関係なく、中国の統一という意味で中国は台湾に攻め入る可能性が高い(人民軍の独立も考慮して)。その際に日本が巻き込まれるのは必至であろう。Plan を採らなければ、参加しないという選択が日本には出来る。

AD2: ・ アジアの人々は、日本人に対する恨みを忘れておらず、たとえ PKF で日本が入っても受け入れられないであろう(民間レベルでは)。しかし、国、政府レベルで同なのかといえれば日本への信頼があってもおかしくない。

- ・ Negative の Turnaround は、よく説明がわからなかったが、アジア人の日本のレジスタンスという点では上記の民衆のこともあり、あってもおかしくはない。Impact は分からないが。
- ・ Minor Repair はどのようにバックアップするのは全く不明で、それが効力をもつのかもわからない。

AD1、2 ともに分からず。戦争に巻き込まれるのはいやです。

### 中野翔氏 (Negative Vote)

まず私の理解できなかったアーギュメントは無視します。その上で 2nd Rebuttal まで延ばされた議論から判断します。AD2, DA1, Counterplan は採りません。

AD 1: シナリオ自体は分かりました(かろうじて)。U.S.のパワーが下がっているかどうかや、カードチェックでは Absolute には切れません。 Slightly Stands Turnaround 1: 日本がターゲットになる。(シナリオ説明不足。分かりません)  
Turnaround 2: PKF で自衛隊が死ぬ。

ありえます。

Plan 後の外国人の死ぬ数も減るとは限りません。  
日本人はきっと死ぬでしょう。

両者のコンパ리를統合すると、  
AD1(Risk 低い。量は大きい) – Turnaround 2(リスク高い)  
どちらも重要な問題で決められません。  
AD1 = Turnaround 2 とし、off-set します。  
とりあえず現状維持を支持します。

最後に、このラウンドでは相当多くのジャッジに対してミスコミュニケーションがありました。強調すべき事や詳しく説明する必要があるのにそれらがなされていない議論は採っていません。

### 安齋達裕 (Negative Vote)

AD 1 Summarize (by 2AR) slightly remains

SQ) U.S.は decline、China は Asia(全体)を狙って expand、それがこわくて other country も expand かわいそうな子供たち。  
AP) U.S.と JPN がタッグを組む。China が suppress される。China、expand やめる。怖くなり、other country も expand 止める。

2AR のスピーチでは、sol のシステムが分からず、、、。上記の Inh についてはある程度は残るが、台湾は統一されるらしいんで、ある程度は China も満足しそうかも、、、(But not enough)。In future, expand by China の割合は減っていきそう。

Turnaround on AD 1 summarize (by 2NR)

(1 個目の言い分) China は expand やめるよ。U.S.の suppress あるし。台湾で満足。  
(2 個目の言い分) China が expand に success したらしたで、AD は日本巻き込まれちゃうよ、、、。

巻き込まれちゃう Reason は、、、

1<sup>st</sup>: U.S.と Japan がタッグ組むから 敵とみなされる

2<sup>nd</sup>: 日本の nuclear resource を China が欲しいねん。

1<sup>st</sup> については、UQ が歩きするけど、なぜ 2<sup>nd</sup> に UQ があるのか分からず。AD1 と Turnaround on AD 1 については、双方効果的なコンパリもないし、お互い怪しい部分あるし、評価できず。 AD 1 off set turnaround (Japan involved)

AD 2 summarize (2AR)

コンフリクトが起こる前に Solev だ、というシナリオ 評価できず。分かりません。  
At least 一般人 in Asia の人は日本人も嫌い むしろ戦いの火種。話しとして残っている  
るので、sol は切ります。

Turnaround (SDF die) (by 2NR)

UQ、問題は数なんですよ、、、UQ あります。But value に触れておらず。評価できず。

Conclusion

Plan とりたくないっす。Plan 採ったら自衛隊死ぬだけっぽい。I'm against resolution.

神田晴彦 (Negative vote)

ラストリバトルを中心に見ていきます。

1: Counterplan gone. 2: DA 1 gone. 3: DA 2 gone.

4: AD 1

- Inherency(中国)

「中国は台湾と仲良くなる。このことにより軍拡の必要性がなくなるか？」  
なくなるのであれば、A) 5, A) 6 の問題は解決されるので Inherency はなくなる。  
(同時に巻き込まれなくなるため Turnaround in AD 1 もなくなる)  
なくなるのであれば(=まだ今後軍拡していくのであれば)Inherency は少し残  
る(同時に Turnaround も残る)まあ理由が台湾問題だけとも限らないので、こっ  
ちでしょうか。

- Inherency(U.S.)

「U.S.の力はどうなっているのか？」 「U.S.の力はどうなっていくのか？」  
Negative は[今後 Asia に集中させる]と主張。  
Affirmative は[日本に援助を頼んでいる]と主張。  
実際に兵力の二倍になっている Negative の主張に従います。

- Solvency (35.000) そんなに永くは軍拡続かない(1AR drop)

よって AD 1 0, Turnaround remains (alliance が強くなることにより巻き込まれる)  
非常に Value な AD と、war に巻き込まれる risk でコンパリして、Turnaround  
outweighs AD 1。

5: AD 2

- Solvency(現地の人を受け入れてくれるか)

Affirmative は INC の card attack を drop。あくまでも Affirmative の evidence は指導  
者の発言であり、一般の人は嫌う人もいるでしょう。よって solvency が怪し  
い、、、。

- Inherency(negotiation しよう)  
確かにわざわざ武装した人々行かなくても良さそう。よって Inherency が怪しい。
- Turnaround SDF death  
今後 Plan によって海外に行く数が増える分、Impact は増えそう。また他国の状況に関しては両者とも proof がないが、少なくとも plan によって日本が行く分増加する。  
よって、New conflict での impact と turnaround の impact、共に数量化できないので off-set いたします。

~ ~ ~

よって、AD 1 の Turnaround に vote します。

- Affirmative は AD 1 に future のアナリシスをいれると良いと思います。
- 僕だったら AD 1 の台湾を grant して、Turnaround を切って (その後 AD 1 を伸ばさない)、AD 2 と SDF の Turnaround とのコンパリソンにもっと時間を割いたかな、。。。。

(NAFA 出版会)

---

<sup>1</sup>このトーナメントのディレクターは、神田晴彦(早稲田大学ESA)および佐藤佳邦(大阪大学)である。